

「地域交流フェスティバル」をPRする学生たち
 加古川市平岡町新在家、兵庫大



29日 JR加古川駅 北広場

兵庫大生自慢の料理

地元食材でパスタなど

飲食で出店

加古川市のJR加古川駅北側の北広場で29日に開かれるイベント「地域交流フェスティバル」に、兵庫大学の学生たちによる飲食ブースが出店される。学生たちは、かつめしの具材を使った調理パンや、加古川パスタなど地元こだわった料理を用意する。

加古川パスタは八幡宮農（同市八幡町船町）から仕入れた志方牛を使ったポロネーゼなど2種類。コッペドッグは、カツとキャベツをかつめしタレで味付けする。学生たちは現代ビジネス学部の14人で、同イベント参加は授業の一環。地元の食材を全面に出してPRしようとして、「加古川パスタ」と、コッペパンとホットドッグを掛け合わせた「コッペドッグ」の2班に分かれて出店する。

るなど3種類の具材をそろえた。

試作を繰り返し、店のチラシや看板も作成した。学部のSNSなどで広報してきた。3年の徳長鈴音さん（21）は「半年かけて準備してきた自信作。たくさんの人に味わってほしい」と意気込む。イベントは午前10時〜午後4時。ほかに市内に店や事業所を構える飲食の5店舗や、キッズコーナーもある。問い合わせは☎090・5893・2574（見玉英友）